



# みどりの風

平成24年1月31日発行

校報483号

[みどりの風26号]

練馬区立関町北小学校

## 守・破・離

校長 大野 泰弘

2月は「にげる」ように過ぎ去っていく月である、と言われます。子どもたちにとっては、1年間のまとめをする大切な時期に入ります。その一日一日を充実させながら、各学年の進級、6年生の卒業に向けて、子どもたちを支えていきたいと思っています。

さて、武道にその語源をもつ「守・破・離」という言葉があります。

「守」とは、「師に教えられた流儀を忠実に守り、それからはずれることのないように、しっかりと身に付けること」  
 「破」とは、「師に学びしっかり身に付けた教えから、一步進めて、ほかの流派の教えや技を自らの特性に合うように取り入れることを心がけ、よく研究し、心と技を発展させ、自らの境地を見付けること」  
 「離」とは、「守」にとられず、「破」を意識することもなく、自己の技や研究を集大成することによって、相手との間に、独自の境地・新しい世界を拓くこと」

以前、将棋の故・大山康晴十五世名人が、「得意の手があるようじゃ、素人です。玄人に得意の手はありません」[永六輔氏「役者 その世界」：岩波書店より]とおっしゃっていました。また、大相撲の横綱 大鵬関は、戸田関に敗れ、連勝が45で止まったときの相撲を振り返り、「物言いがつくような相撲を取る自分が悪い」と行司の誤審がビデオで明確になったときのインタビューで答えていらっしゃいました。

大山十五世名人、横綱大鵬関、お二人とも、将棋界、大相撲界の誇る偉大な方ですが、そのお二人が、相手に合わせ、臨機応変に柔軟に対応できることが真の玄人「プロ」であり、自らの敗戦の原因を己の中に見出そうとするのが勝負の世界に生きる「プロ」である、ということを教えてくださっています。その言葉には、各々の道において、常に「守・破・離」を意識し、自己に厳しく鍛錬してきた方の威厳にも似た風格さえ感じられます。勝負する世界は違っていても、それぞれの道を究め、頂点に達した方の境地には共通のものがあるようです。

ところで、私たち教育に携わる者は、「授業」の中にその専門性が発揮されます。授業を例にすれば教科書に沿って、指導計画をふまえて淡淡と授業することは「守」、自ら得意とする教科の指導だけでなく、ほかの教科や指導法を研究して授業することは「破」、**「守」や「破」の境地を脱し、日々の授業を厳しく見直しながら、子どもたちと共に学び合い、臨機応変かつ柔軟に授業できることが「離」ではないか、とも考えられます。**

本校では、ただ今、昨年お寄せいただいた学校教育に対するアンケートをまとめ、来年度の教育計画を作成しております。教育のプロ、授業のプロとしての役割等をさらに自覚し、「守」よりも「破」、「破」よりも「離」をめざしつつ、本校に学ぶ子どもたち一人一人のために、今後もよりよい授業、よりよい教育実践を求めてまいりますので、引続き、皆様のご理解とご支援を賜りますと有難く存じます。

## 2月の行事予定



- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1日 (水) 児童集会                 | 20日 (月) 全校朝会・クラブ活動終<br>清掃工場見学 (4-2,4-3)   |
| 2日 (木) 安全指導日<br>社会科見学 (5年)  | 21日 (火) 新1年生保護者説明会 2:00 ~<br>4時間授業 (1,2年) |
| 3日 (金) 校内書きぞめ展終             | 22日 (水) 音楽朝会                              |
| 6日 (月) 全校朝会・委員会活動           | 24日 (金) PTA 年度末総会 3:00 ~                  |
| 8日 (水) 児童集会<br>きょうだい学年遊び    | 25日 (土) 宇宙の学校 2:00 ~                      |
| 11日 (土) 建国記念の日              | 27日 (月) 全校朝会・委員会活動                        |
| 13日 (月) 全校朝会<br>クラブ活動・クラブ見学 | 28日 (火) 新地区班長会 3:30 ~                     |
| 14日 (火) 社会科見学 (6年)          | 29日 (水) 委員会発表・社会科見学 (4年)                  |
| 15日 (水) 体育朝会<br>研究会のため4時間授業 | 3月1日 (木) 6年生を送る会                          |
| 17日 (金) 清掃工場見学 (4-1,4-4)    | 2日 (金) お別れ給食会<br>保護者会 (1,2年) 2:50 ~       |

## 2月の生活目標 友達と外で元気よく遊ぼう

### 昔遊びの会

2年担任 佐々木 登美子

2年生は、生活科の授業を通して1年生と交流しています。4月には、「学校探検」。今回は「昔遊び」。2月には「子どもまつり」も計画されています。

昔遊びの会では、こま、あやとり、けんだま、ヨーヨー、かるた、おはじき、百人一首遊びのコーナーを開設しました。特にこまは、12月に一人一人が色付けした「世界に一つしかない木製のこま」を作り、冬休みに回す練習をしました。ご家族の方に特訓を受けてきた子どもたちもいました。紐の巻き方、手からこまを放す時のタイミングなど教えてもらったことを、学校で友達に伝授していました。それぞれのコーナーでは、「1年生にどのように教えるか」、「1年生でもできるルールにしよう」と相談しました。

1月24日の昔遊びの会では、こま回しからスタートしました。司会や始めの言葉、説明や終わりの言葉など分担したり、1年生に親切に教えたりしました。短い時間でしたが、1年生から「優しく教えてくれてありがとうございます。」と声をかけられ、ちょっぴりお兄さんやお姉さん気分を味わうことができました。

「これからも1年生にもっと優しくしてあげたいです。」「司会は緊張したけれども、大きな声で言えてよかったです。」「頑張って練習して、1年生が喜んでくれて嬉しかったです。」など行事を通して成長した姿を見せてくれました。

2月16日(木)3,4校時の「子どもまつり」も楽しみにしてください。

### 長縄跳びで一致団結!

3年担任 井上 桂一

本校の休み時間は今、大きな声を出して元気に長縄跳びをする児童でいっぱいです。2月15日(水)の体育朝会の中で実施される、「ENJOY大なわ」の練習に、各クラス一生懸命になっているのです。3年生も例外ではなく、3クラスとも児童も教師もみんなで協力して、少しでもクラスの記録をよくしようと、真剣な眼差しで頑張っています。

いつもは別々の遊びをしている児童も、このときばかりは全員で話し合い、知恵を出し合い、工夫し合い、称え合い、そして励まし合いながら、一つの目標に向かって頑張っています。記録を更新したときは全員大はしゃぎで喜び、うまくいかないときは全員で、考え、そしてまた頑張る。同じ気持ちを共有できていることが、とてもよく伝わってきます。

今回の長縄跳びを一つのきっかけとして、また学級が大きく成長している気がします。教師の指導で成長していく部分も多いですが、今回のように児童同士の触れ合いや取組みを通して成長していく部分も大きく、とても大事なのだと、改めて感じさせてくれる光景です。本番まであと2週間ほど。これからもどんな素晴らしいドラマが待っているのか、楽しみです。



### 学校一日公開を終えて

理科専科 川崎 正道

大雪の後の学校一日公開。寒さは厳しく、雪の残る中、多くの保護者や地域の方々にご参観いただき、有難うございました。また、同時に開催している校内書きぞめ展も熱心にご鑑賞いただき、児童も教師も今後の励みとなりました。

さて、この日の理科室は1時間目から5時間目まですべて公開のスペシャルデイでした。早朝の雪かきの後でしたが、理科室で、子どもたちのやる気満々の顔を見て、一層の元気が出てきました。5年生は「もののとけ方」、6年2組は「てこのはたらき」の最初の授業、6年1組は「水よう液の性質」の中和の実験の様子を見ていただきました。4年1組は別府教諭が「すがたをかえる水」の授業を行いました。

理科の学習で、最も力を入れているのは、『考える力』の育成です。原因と結果を結び付けてとらえること、課題やそれに対する予想から実験の結果を踏まえて考察すること、様々な事象を実験結果と結び付けて推論すること、などを授業の中で取り組んでいます。また、様々な生活体験や今までに学習してきたことをもとにして予想を立てることや、「もののとけ方」や「すがたをかえる水」では目に見えなくなったものの姿を想像すること、「てこのはたらき」のように規則性を見つけること、そして、それらを表現することなども重視しています。「実験が楽しい理科」から、「実験も考えることも楽しい理科」を目指して頑張っています。授業を参観されてのご感想などお寄せいただくと嬉しいです。